

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成31年1月22日
氏名: 板谷 月紀
留学時所属&学年: 国際地域学部グローバル専攻3年

留学先大学	アサンプション大学
留学先国	タイ
留学期間	1学期間
留学開始-終了日	2018年8月3日 - 2018年12月18日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

外国で実際に生活し、慣れ親しんだ楽な環境でない場所に身を置くことで精神面や英語力の成長を図り、また異文化に対する理解を深めたいと思ったからです。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学の3か月ほど前から、ビザやパスポートの申請、航空券や保険の取得などの必要な手続きを始めました。その後、郵便物や家賃の支払い、携帯の使用など留学中の細かな事柄を家族と相談して取り決め、留学に持っていくものを買って準備しました。留学先大学の国際課の方とも連絡を取って、到着後の対応や履修登録等についてのすり合わせを行いました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

複数の友人が二週間のプログラムで同じ大学に滞在していたことがあったので、彼女たちから話を聞いて、アサンプション大学に決めました。また現地の学生を紹介してもらって連絡を取り合い、現地や大学についての情報を入手していました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

学部全体で受けるものと任意のものを含め、TOEFL ITP テストを8回ほど受けました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

同じ大学に滞在したことのある友人から、現地で必要な物や気を付けるべきことのアドバイスももらっていたのでとても役に立ちました。また今回の海外渡航が初だったので、必要書類の申請やその他の手続きの仕方など、国際課の方に丁寧に教えていただきとても助かりました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

単位認定できそうな教科というのが思ったよりも少なく、二大学間で交換できそうな教科を探すのが大変でした。また、留学先の国際課からの返答が遅く、履修登録に関する相談や手続きが思うように進まなかったため、早め早めに準備することをお勧めします。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

校風はさほど厳しくはなく、イベントごとなども盛大に行われていて生徒の自主性が尊重されていました。先生方もフレンドリーで心地の良い環境でした。



2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

学内、寮内ともに一人一つずつ Wi-Fi が提供されていて、うまく繋がらないこともありましたが、基本的には快適なネット環境でした。スポーツ施設はジムやプール、卓球場やバドミントン場、バスケットコートなどかなり充実していました。学内にはレストランモールも二つあり、恵まれた環境で生活することができました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

ありません。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Thai Language and Culture(Jaruwan Puangmalee) ●時間数/週(単位数): 3/週(3) ●クラスの学生数: 約40名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <ul style="list-style-type: none"> ➢ タイの文化(基本情報、宗教、食事、年中行事など)、基本的なタイ語を学んだ。 ➢ スライドと講義で授業が進められ、大学サイトからスライドを見て復習した。 ➢ タイ文化に関するプレゼンや、タイの伝統物を製作する活動が評価の対象として課された。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): Society Politics and Economics(Piengsom Bunnag) ●時間数/週(単位数): 3/週(3) ●クラスの学生数: 約25名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <ul style="list-style-type: none"> ➢ 戦争、虐殺、闇取引、人種差別、LGBT など、社会問題を世界の歴史を踏まえて学んだ。 ➢ 異文化交流を目的とした課外活動が課され、期末試験前にはそれを基にプレゼンを行った。月に数回、与えられた社会問題のテーマに基づいたグループエッセイも課された。 ➢ スライドと講義で授業が進められ、大学サイトからスライドを見て復習した。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): English for Tourism(Sureepong Phothongsunan) ●時間数/週(単位数): 3/週(3) ●クラスの学生数: 約25名 ●授業内容・課題(予習・復習の方法等): <ul style="list-style-type: none"> ➢ スライドと教科書を使った講義を中心に、練習問題を挟みつつ観光業とその用語について学んだ。 ➢ 月1、2回程度、グループでのプレゼン(ロールプレイ)やエッセイなども課された。 ➢ 教科書の問題を解く宿題も課されることがあった。
4	<ul style="list-style-type: none"> ●科目名(担当教員名): World Civilization(Apiradi Kanchanadul) ●時間数/週(単位数): 3/週(3) ●クラスの学生数: 約20名

●授業内容・課題(予習・復習の方法等):

- スライドと講義で授業が進められ、世界各地で誕生し発展した古代から現代に近代にかけての文明について学んだ。
- 月2回程度、グループでのエッセイが課された。期末前にはグループプレゼンでの評価がされた。
- 大学サイトからスライドを見て復習した。

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

全ての授業が主にスライドを見ながらの講義形式でしたが、スライドは後でも確認することができるので、リスニング力を伸ばす目的もあってまずは先生方の講義をしっかりと聞き取ることに集中するようにしました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

やはり英語力では自信がなく他の外国人留学生よりもはるかに劣っていたので、授業中に課される課題やプレゼンについての細かな趣旨・手順の説明などを理解できないこともあり、これらは直接評価にも関わるので大変でした。そこで友達になったタイ人学生や留学生とよく情報交換をしあい、また分からないことはためらわずに聞くことを第一に意識していました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

スライドを使った講義形式のものがほとんどでした。たまにグループプレゼンやエッセイなども課されましたが、一人でのプレゼンはありませんでした。授業の方法としては福井大学で受けていたものとさほど変わらなかったのが不安な点は少なかったです。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

Society Politics and Economics の授業が個人的にも興味のある内容で面白かったです。様々な社会問題を世界の歴史を基に学ぶ授業でしたが、歴史としてあったことは知っていても、戦争や虐殺などがどのような経緯で起きどのように終わったのか、LGBT問題や人種差別が実際どのくらい根付いており解決のためにどのような動きが見られるのかなど、しっかりと知識として学び、考えることができる授業でした。先生もとても優しく、丁寧に教え生徒に考えることを促してくださいました。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(2)人部屋
寮・アパート名	Queen of Sheba
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 (バルコニー・物干し・全身鏡・靴箱・引き出し・冷蔵庫)
共用設備	ランドリー・コンビニ・レストランモール・カフェ・自習スペース・スポーツ施設等



2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

レストランモールには食堂を含め、和食・洋食・中華・カフェなどのレストランが多数ありました。ATM および銀行も寮近くと学校内にあります。スーパーは近くになく、二箇所のコンビニや学内のドラッグストアで買い物は賄っていました。敷地が広く徒歩で学外に出ることはできないので、生活圏は主に学内(寮)のみでした。



3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

家賃を払うために現地の銀行を開設し、毎月振り込んでいました。カード払いできないところも多かったので、支出のほとんどを現金払いにしていました。仕送りを月に一度4万ほど振り込んでもらい、学内のATMでデビットカードでおろして家賃、光熱費、娯楽などすべてをまかしていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通して、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

日本の商品はほとんど手に入りますが、少しマイナーなもの(洗顔や化粧品など)でこだわりがある場合は予備も含めて持っていくことをお勧めします。タイは常夏なので、日焼け止めや虫よけを持参することを勧められましたが、これらも全て現地のコンビニで買うことができるので持っていく必要はないです。ただ、クスリ類はやはり日本のものの方が信頼できるので、風邪薬やお腹の薬、目薬などは日本から持参した方がいいと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨=タイバーツ)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	6万	食費	5万
保険代	7万	家賃	7万5千
予防接種・ビザ代	2万	教科書代	1万
交際費(外食等)	7万	その他	15万

合計:約50万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

タイ人は王様を崇拝しており、また仏教に対する信仰心も日本人より強いので、それらを侮辱しているととられるような発言をしないように気をつけていました。それ以外ではタイ人はオープンな性格の方が多く、気にすることは少なかったです。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

学内にはドラッグストアはありましたが、保健室のような医療サービスが受けられるかどうかはわかりません。また私自身は留学中に病院に行くこともありませんでしたが、日本人専門の病

院などもあるようなので、海外の医療サービスが心配な場合はそちらで受診するといいかも
れません。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

一度も通院・入院はしませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

風邪薬やお腹の薬、絆創膏、かゆみ止めなど市販の薬は一通り持っていました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に掲げていた目標は、英語力での成長です。といっても文法や単語力というよりは、異国の人とためらわずに話すための会話力を成長させたかったので、その点では自分が描いていたイメージには到達できたと思います。留学前は自分の英語に自信がなく、伝わらないことを恐れて話し出せないことが多かったのですが、向こうでは話さないと生活できないので、とにかく相手の話を注意深く聞き、伝えたいことを全力で伝えるようになりました。

食事や文化に対しても、まずは見た目やイメージで毛嫌いせずトライしてみる癖がつかしました。その結果、知識として学ぶだけではわからないことも体験し、実際に自分の感覚を通して考えることができるようになりました。

一番大きく変わったのは精神面です。あまり学業や留学経験としては関係ないですが、一人の時間も多かった上にホームシックやトラブルも経験してそれを乗り越え、無事に留学を終えることができたことは自分の中で大きな自信となりました。また日本にいた頃にどれだけ恵まれた環境にいたかなど、経済格差が日本よりも激しいタイで生活したことで見えるようになったことも多々ありました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

タイ語を簡単な会話ができるレベルまで習得できればと思っていたのですが、思っていた以上に難しくあまり習得できませんでした。留学前からもう少し予習をし、現地の人とタイ語で話す機会を増やすことができればもっと習得できたのではないかと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後は、英語に触れる機会をできるだけ減らさないようにし、少しでも英語を使った仕事に就きたいと考えています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

アサンプション大学は校内の施設が充実していてとても快適に留学生活を送ることができますし、イベントやお祭りもたくさんあって生徒は自由に、自主的に様々な活動しています。私は5か月という短い留学期間でしたが、振り返ってみても青春だったなと思えるような濃い時間でした。授業で学べることも幅広いですし、日本にいる時よりも比較的自由な時間が多くなると思うので、自分がやりたいことを見つけてそこに集中できる十分な環境と時間を得ることができます。また学生も皆本当に優しく、また会いに行きたいと思えるような友人に出会うこともできました。日本に帰りたかったことは何度もありますが、留学に来なければ良かったと思ったことは一度もなかったです。自分にとって、人生にとって大きな経験となるので、留学を迷っている方はぜひ思い切って行ってみることをお勧めします。